

製品名: MYPT3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14356**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1R16A
別名	PPP1R16A; MYPT3; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 16A; Myosin phosphatase-targeting subunit 3
遺伝子 ID	84988.0
SwissProt ID	Q96I34
免疫原	抗血清はヒト PPP1R16A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 362-411

背景

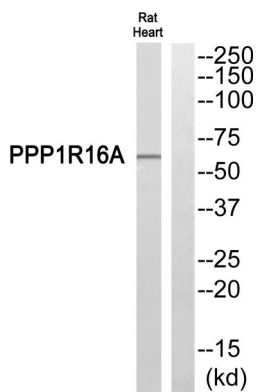
ミオシン軽鎖キナーゼ・ホスファターゼ（MLCP）複合体は、筋肉および細胞内運動に不可欠な調節性ミオシン軽鎖のリン酸化状態を

制御します。MLCPは通常、触媒性タンパク質ホスファターゼ1 (PP1c) サブユニット、ミオシンホスファターゼ標的化 (MYPT) サブユニット、および別のより小さなサブユニットを含みます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は MYPT サブユニットであり、PP1c を標的に誘導する役割を担っています。しかし、他の MYPT はリン酸化されると PP1c を活性化しますが、この遺伝子によってコードされるタンパク質はプロテインキナーゼ A によってリン酸化され、PP1c の触媒活性を阻害します。 [RefSeq 提供、2016年7月],機能:ホスホリラーゼ、ミオシン軽鎖、ミオシン基質に対するタンパク質ホスファターゼ 1 の活性を阻害する。 ,配列注意:クローニングアーティファクト。 ,類似性:5 つの ANK リピートを含む。 ,サブユニット:PP1 に結合する。 ,

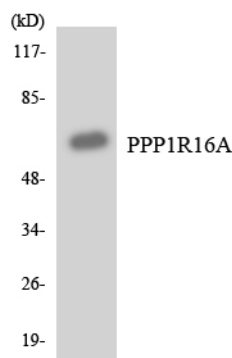
研究分野

-

画像データ



PPP1R16A 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが PPP1R16A ペプチドでブロッキングされている。



PPP1R16A 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。